

「入試対策と英語教育」

発表者 奈良県立奈良高等学校 徳永 憲昭

一般に進学校と言われる現場では、英語の授業の中で完全に教科書を離れ入試対策のための問題集を使い、長文読解及び英作文指導を行う機会が多い。その際、生徒にとって興味深い授業を行うために「どのような工夫をすべきであるのか」を皆さんと一緒に考えたい。

1. 生徒の実態から分析して

- 1) 入学時より、英語を得意とする生徒は多いが、長文分析型の傾向が見られる。
- 2) 勉強の進め方として、「英文をきちんと和訳できること」が最終のゴールである。

2. 教師の実態から分析して

- 1) 授業中、きちんとした和訳がないと生徒が、非常に不安感を持ってしまうので、授業の大部分を和訳作業に費やしている。
- 2) 授業中、様々な活動を展開したいが、和訳作業に時間を取られ、時間的余裕がない。

3. 入試問題集を使って、どのように英語教育の目的を達成するか。

- 1) 問題集をどのように活用するか。
- 2) 45分間一コマの授業をどのように能率よく展開するか。

※今回は、実際に使用しているテキストを持参しますので、展開の方法についてより具体的に様々なご意見を聞かせて頂ければ幸いです。